

チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	-(事務局用)	「室蘭が好き。」を増やして、みんなで住み続けたいまちを創る	室蘭市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	New Muro Place		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

チーム名(公開)	ハヤシライス		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数(公開)	5 名		
代表者(公開)	岩間千尋		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示-非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。
<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	確認後 OK なら右に○印を記入⇒○
--------------------------------------	---------------------------

2. アイデアの説明(公開)

(1) アイデアの内容(公開)

(1)アイデアの内容、(2)アイデアの理由、(3)実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、**何を**する社会的な活動(サービス)なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、**魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい**なる、そしてその結果として、課題が解決される、そんな**わくわく感のあるアイデア**を期待します。**2ページ以内**でご記入ください。

<応募チームとして**解決したい課題のポイント**はこれです！をごく短く以下に書いてください>

<解決したい課題のポイント>

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

若い世代の室蘭の地元の人たちが、室蘭に対して興味を持っていない、あるいは市外に興味があるために、若い世代が流出してしまっている。この現状に対して、室蘭市民自らが魅力を発見しアピールする必要がある。これが実現すると、若い世代の室蘭の地元の人たちが室蘭に愛着を持つようになり、室蘭に住みやすいと感じるようになる。以上を実現するために、室蘭の魅力を発信する場を整える必要があると考えた。

私たちが提案するアイデアは、室蘭市民が地域のお気に入りスポットを共有することができる Web アプリケーション、New Muro Place の作成である。このアプリケーションは、ユーザーが室蘭のお気に入りスポットを写真やその他の詳細情報と共に共有ことができ、他のアプリ利用者の共感を得ることができるので、新たな室蘭の魅力を発見することにつながると考える。魅力を発見、共有できる機会を作ることが、室蘭を好きになるきっかけを増やすことにも繋がり、人口流出を少しでも抑えるための一手になると考えた。

以下に、アプリに搭載する機能について記載する。

1. お気に入りスポットの共有機能

GPS、マップ機能等を利用して、お気に入りスポットがどこにあるのかを手軽に共有できる機能。

2. 写真のアップロード機能

お気に入りスポットの場所に加えて、写真で情報を補足できる機能。

3. スポット説明機能

1、2と合わせて、いくつかの文章でスポットの良い点や好きな点などを説明できる機能。

4. おすすめ&検索機能

検索ページにキーワードを入力してユーザーの興味がありそうな場所を検索できる機能。また、検索履歴、閲覧履歴等から情報を取得し、ユーザーが好きそうなスポットを表示する機能。

5. コメント機能

共有されたスポットに対して、自分の意見や感想を投稿する機能。

6. 掲示板機能。

自分以外のアプリ利用者に対してコメントを投稿することで、直接おすすめを聞くことができる機能。それ以外の会話もすることができる。

7. 投稿写真の評価機能

★や「いいね」などで簡単に他人の投稿した写真を評価、おすすめできる機能。

8. プロフィール機能

アカウントに紐づいたプロフィールを作成できる。パスワードの変更などもこの画面で行う。

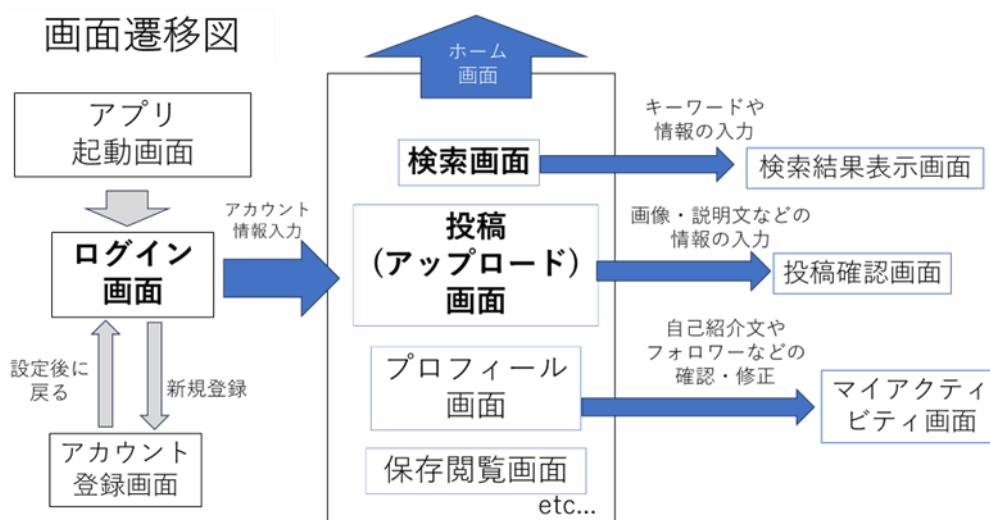
9. 交通手段の統計表示機能(他 SNS との差別化)

アプリで行きたいと思った場所への交通手段統計を表示する。それに加え、バスや電車の時刻表とも紐付ける。アプリの利用者が目的地に行くというハードルを、下げたいと考え搭載した機能。

基本的に地元のユーザーが使用することを想定しているので、これらの機能は写真共有とコメント機能に焦点を当て、なるべくシンプルで扱いやすい形を目指す。また、このアプリは Web アプリケーションで実現する。理由として2つの利点がある。1つ目の利点は、写真投稿、閲覧機能がメインであることを考えると、この2つの機能の実現が簡単に行けるといえる利点である。そして2つ目の利点は、現地に行って利用するという特性上、機種を問わずに携帯端末で閲覧できるという大きな利点である。

アプリケーションのデザインは、ホーム画面からほとんどの機能にアクセスできるような形態とする。ホーム画面にそれぞれの機能のアイコンを置いて、それをタップすることで、検索、閲覧、投稿、プロフィール等の画面に跳べるようにし、とんだ画面先で、それぞれの機能を利用できるようにする。予想画面遷移図は、以下の図1のようになると思われる。

図1 予想される画面遷移図



2. アイデアの説明(公開)

(2) アイデアの理由(公開)

(2) アイデアの理由(公開)

次にアイデアを提案する理由(なぜ)について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます>

<先の(1)で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

我々がこのアイデアを採用した理由は、室蘭市に在住している人々の年齢層の特徴に着目したからである。室蘭市が出している室蘭市住民基本台帳人口統計資料(図1)を見てみると、18~24歳の年齢層の人口が他の年齢層に比べて多いことがわかった。これは室蘭市に室蘭工業大学があること等の影響が考えられる。

※※※ 年代別 ※※※

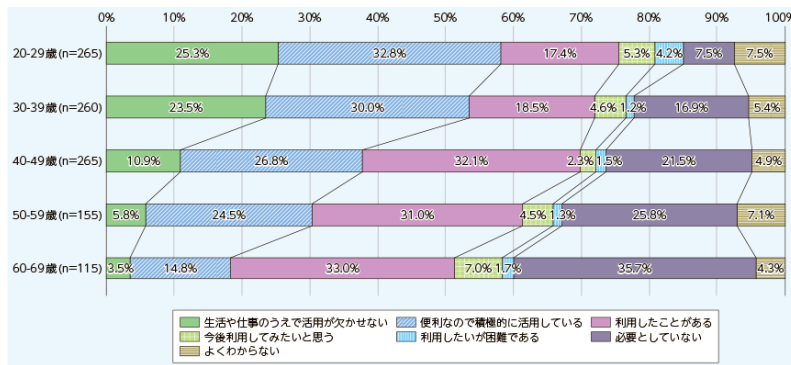
0~4	965	1,001	1,966	50~54	2,800	2,753	5,553
5~9	1,180	1,155	2,335	55~59	2,336	2,401	4,737
10~14	1,373	1,306	2,679	60~64	2,190	2,365	4,555
15~19	1,653	1,409	3,062	65~69	2,331	2,519	4,850
20~24	2,186	1,423	3,609	70~74	3,281	3,973	7,254
25~29	1,774	1,322	3,096	75~79	2,514	3,663	6,177
30~34	1,700	1,368	3,068	80~84	2,144	3,224	5,368
35~39	1,831	1,602	3,433	85~89	1,257	2,282	3,539
40~44	2,030	1,925	3,955	90~94	460	1,133	1,593
45~49	2,660	2,429	5,089	95~99	106	427	533

図1 室蘭市の人口 年代別(引用元:室蘭市ホームページ)

ここで我々は、室蘭市の人口を増やすためには高校・大学生の若年層を室蘭市外に流出させないことがいいのではないかと考察した。室蘭工業大学に進学することにより市外から若年層が多く引っ越してくる、室蘭市の一様の特異性を利用したアイデアである。

また近年、PC やスマートフォンなど各種インターネットの普及に伴い、SNS がより身近なものとなっている。現在日本に在住している若者の SNS 使用率は以下の表のようになっている。(図2)

図2 年齢別 SNS 使用率(引用元:総務省 R4 年度情報通信白書)



この表から日本に在住している 20~29 歳の 66.5%が SNS を利用しており、利用してみたいと SNS に対して好印象を抱いている人を含めると、76%にまでのぼることがわかる。このように現在の日本では SNS の普及が拡大されており、これは室蘭市で考えてみても例外ではないと考えた。

我々のこのアイデアは、単に若者にだけ向けた物というわけではない。現在室蘭に在住している人もこのアプリを使用することができる。SNS の手軽さは、若者だけにどまらず30代~50代の人々も多く使用している。これにより若者が見つけた素晴らしいスポットを、室蘭市に在住している人が再確認できる。逆に長く室蘭に住んでいないと見つけられないような穴場のスポットを、若者が教えてもらうことにより、新たな室蘭の良さに気づくことができる等の相乗効果にも期待できる。

室蘭市は若者が多く住んでいるという特徴と、若者の SNS 使用率が高いということを掛け合わせたアイデアがこの New Muro Place である。このアプリを活用することにより、室蘭市から流出する若者を減らし人口の底上げを図る。さらに現在室蘭に在住している人たちが、室蘭のいい所を再確認できるようになればいいなという考えが、我々がこのアプリを開発しようと思った理由である。

参照元

- 図1 https://www.city.muroran.lg.jp/main/org3600/toukei_mokuji.html
室蘭市／室蘭市住民基本台帳人口統計資料
最終参照日 2023 年 12 月 13 日
- 図2 <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf308000.html>
総務省/情報通信白書 データ集
最終参照日 2023 年 12 月 13 日

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず＞

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 実現する主体

①室蘭工業大学 システム理化学科 数理情報システムコース グループ 07 ハヤシライス

- ・アイデアの立案
- ・New Muro Place の開発を行う。
- ・広告物の一部作成を行う。

②室蘭市役所

- ・人口流出を抑えるため、様々な取り組みを行っている。
- ・ New Muro Place の開発の資金源
- ・ New Muro Place を宣伝する web サイトの運営を行う。
- ・ New Muro Place を宣伝するための広報誌の運営を行う。

③室蘭市民(高校生～院生)

- ・ New Muro Place のターゲットユーザである。
- ・室蘭の若者の半分程度(約 2000 人)が利用することで、初めてこのアイデアの目的が達成される。

2. 実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の大まかな規模とその現実的な調達方法

①ヒト

- ・設計 5 人
- ・メンテナンス、アップデート 3 人
- ・広報 3 人
- ・運営 2 人
- ・室蘭市役所従業員の方々

②モノ

必要なモノは、表1のように考えられる。

表1 必要なモノ

必要なモノ	調達主体	備考
サーバー	室蘭市	高校生～院生の人口の 50%(約 2000 人)を想定
アプリ宣伝のための web サイト	室蘭市	
アプリ宣伝のための広報誌	室蘭市	既存品を流用
アプリ宣伝のためのポスター等広告物	広告代理店	
アプリ開発用コンピュータ	設計者	メンバー各自持参
プラットフォーム	室蘭市民	ターゲットである若者が持っている電子デバイス(スマホ・PC など)

③カネ

必要なカネは表2のように考えられる。

表2 必要なカネ

必要なモノ	必要なカネ	備考
サーバー	初期費用 88,000 円	(※3)
	月額費用 35,000 円	
アプリ宣伝のためのポスター等広告物	初期費用 1,000,000 円	(※4)
	月額費用 500,000 円	
室蘭市役所従業員の人件費	月額費用 2,250,000 円	(※5)

3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

実現にいたる時間軸とプロセスは以下の図3のように考えられる。

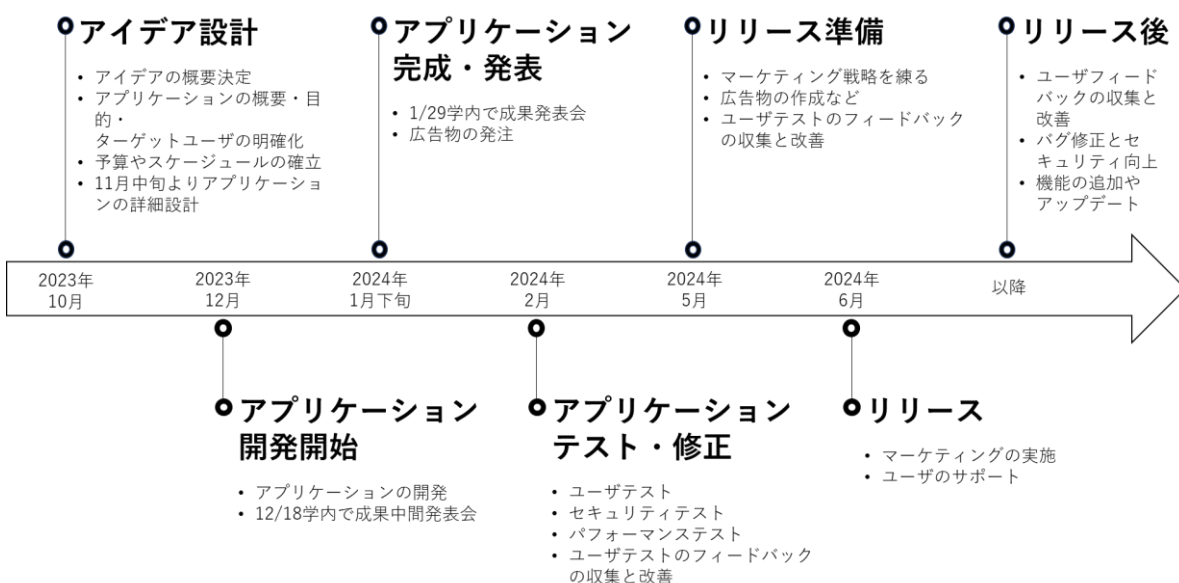


図3 実現に至る時間軸とプロセス

参考・参照元

(表1) GMO グローバルデザイン・ホールディングス株式会社のサーバー費用を参考

URL: <https://www.wadax.ne.jp/service/private/price/>

(表2) 主要顧客として室蘭市を挙げている株式会社エム・ツー・カンパニーへの依頼を想定しているが、料金がわからないため、広告代理店の相場で計算

URL: https://ad-hoop.net/useful/web_agent_price/

(図3) 広報むろらん 2017 2 月号 職員給与費の 1 人当たり給与費を一か月分に換算

URL: https://www.city.muroran.lg.jp/main/org1400/documents/2017_2p4-5.pdf

(※上記はいずれも最終参照日は 2023 年 12 月 13 日)